

美<sup>び</sup>国<sup>くに</sup>川<sup>がわ</sup>水系河川整備基本方針

平成 13 年 5 月

北 海 道

# 美国川水系河川整備基本方針

## 目 次

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	1
(1) 流域の概要	1
(2) 治水の現況	1
(3) 河川の利用の現況	1
(4) 流域の自然環境	1
(5) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	2
2. 河川の整備の基本となるべき事項	3
(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項	3
(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項	3
(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項	4
(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項	4
(参考図)	
美国川水系流域概要図	5

## 1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

### (1) 流域の概要

美国川は、その源を北海道積丹郡積丹町のポンネアンチシ山（標高 1,045m）に発し、焼野川等の支川を合流しながら日本海に注ぐ、流域面積は 61.8 km<sup>2</sup>、幹川の流路延長 16.8 km の二級河川である。

河川の名前は、一説によると、アイヌ語のポクニに由来し、「下に・ある・もの」（山下のところにある川）の意と言われている。

流域内の土地利用は約 90% が山林で占められているが、中下流部に畑、牧草地が広がり、河口付近の低平地に美国漁港を有する美国市街地が形成されるなど、積丹町における社会・経済の基盤をなしている。

また、流域の海岸線は優れた自然の風景地として、ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されている。

### (2) 治水の現況

本水系の治水事業としては、昭和 35 年から昭和 39 年にかけて、河口部から 1.7km の区間について改修事業が実施されている。その後、平成 10 年 9 月の台風により浸水家屋 12 戸の被害を受け、引き続き平成 11 年 7 月にも被害が発生したことから、再度災害を防止するため、平成 12 年度より河口からの改修事業に着手している。

### (3) 河川の利用の現況

本水系の水利用としては、消火用水および冬期間の流雪溝用水などの生活用水として利用されている。

河川空間の利用については、全川に渡りサクラマス・アユの釣り場となっており、後志支庁管内におけるさけ・ます増殖事業の重要な河川として位置づけられ、サケとサクラマスの孵化放流が行われている。また、美国神社の祭りでは、御輿を担ぎ堤防通りや河川の中をねり歩くなどの利用も行われている。

その他、下流右岸の海岸環境整備箇所は海水浴場として、下流部の河原ではキャンプ等に利用されている。また、川沿いのオオイタドリの若葉を、養殖しているウニの餌として活用しているなど、地域の文化、産業と深く関わりのある河川である。

### (4) 流域の自然環境

美国川流域の気候は、比較的温暖であるが、冬季は北西の季節風を受けるため積雪が多く、年平均降水量は約 1,800mm、年平均気温は約 7℃である。

流域の地質は、ポンネアンチシ山周辺等に第三紀層が広く分布しているが、その大部分は安山岩や石英粗面岩の火山岩体および凝灰岩などで構成されている。また、美国川沿いの低地には、沖積世の砂礫、砂などから成る未固結堆積物が分布している。

美国川の中上流域は、エゾイタヤ・シナノキおよびミズナラ林などの広葉樹を主体する豊かな森林に覆われた山地を流れ、河川周辺にはオオイタドリ・ヤナギ類・オニグルミなど河畔林が河道に覆い被さるよう繁茂している。流域ではヒグマやキタキツネ、昆虫類としてジョウザンシジミなどが生息している。

下流部は、左岸には堤防が整備され、その背後に市街地が形成されているが、右岸は山付きになっており、水際まで河畔林が生い茂っている。右岸の崖地ではアマツバメの生息が確認されており、河原ではイソシギ、河口ではオオセグロカモメなども見られる。また、クロテンなどの生息も確認されている。

美国川は急流河川で、河口まで上流域の河川形態を示しており、早瀬と淵が連続し、比較的粒径の大きな礫で河床が形成されており、サクラマス・サケ・アユ・カンキョウカジカなどが多数確認され、魚類の生息に適した環境となっている。

美国川の水質は、近年の調査によると上流から下流まで全川でBODが0.8mg/l以下となっており良好な水質が保たれている。

#### (5) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

河川の総合的な保全と利用に関する基本方針としては、水害発生状況、治水事業の現状、河川の利用状況ならびに河川環境を考慮し、水源から河口まで一貫した計画のもとに以下のとおりとする。

災害の発生の防止又は軽減に関しては、美国川流域の社会、経済的な重要度と道内他河川との計画規模の整合を図りつつ、概ね50年に1回の確率で発生する規模の洪水に対して、積丹町美国市街地の沿川地域を防御するものとする。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関しては、利用状況等の実態を踏まえ、水量・水質等の把握を行うとともに、関係機関との情報交換や調整を行い、河川が適正に利用されるよう、秩序ある維持に努めるものとする。

河川環境の整備と保全に関しては、動植物の生息・生育環境、特に多数の魚類が確認されていることから、これらの良好な環境に対し適切な保全措置を講じることや、市街地に隣接して流下する河川であることから景観等にも配慮することにより、良好な河川環境の保全と整備に努め、地域住民と河川との豊かなふれあいの場の確保を図るものとする。

なお、以上の実施にあたっては、地域住民や各分野の専門家の意見を踏まえながら、河川の総合的な保全と利用に努めるものとする。

## 2. 河川の整備の基本となるべき事項

### (1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量は、概ね 50 年に 1 回の確率で発生する規模の洪水を考慮して、新美国橋基準点において  $410\text{m}^3/\text{s}$  とし、これを河道に配分する。

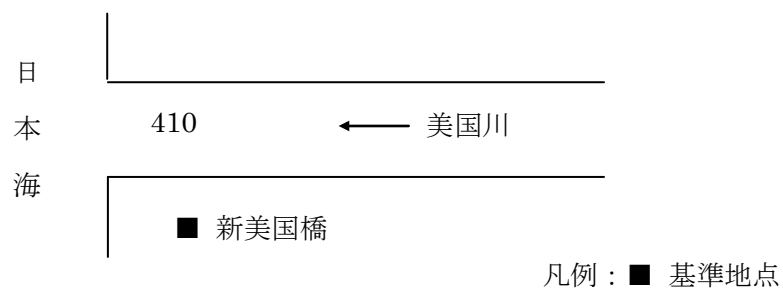
表-1 基本高水のピーク流量等一覧表

河川名	基準地点名	基本高水のピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
美国川	新美国橋	410	—	410

単位  $\text{m}^3/\text{s}$

### (2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

美国川における計画高水流量は、新美国橋地点で  $410\text{m}^3/\text{s}$  とする。



計画高水流量配分図 (単位  $\text{m}^3/\text{s}$ )

(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位および概ねの川幅は次表のとおりとする。

表-2 主要な地点における計画高水位一覧表

河川名	地点名	河口または合流点からの距離 (km)	計画高水位 T.P. (m)	川幅 (m)
美国川	新美国橋	0.8	+7.73	65

(注) T.P. : 東京湾中等潮位

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

美国川では流雪溝用水等として約  $0.2\text{m}^3/\text{s}$  の許可水利があるが、湯水被害が生じた事例はない。

美国川における流水の正常な機能を維持するため必要な流量については、今後、流況等、河川状況の把握を行い、利水の現況、動植物の保護、流水の清潔の保持等を考慮し、調査検討を行い定めるものとする。

# 美国川水系流域概要図

